

令和6年9月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年9月分について、輸出額は「半導体等製造装置」などが増加したものの、「自動車の部分品」「自動車」などが減少したことから、対前年同月比8.0%の減少となった。輸入額は「がん具及び遊戯用具」「衣類及び同附属品」などが減少したものの、「原粗油」「自動車」などが増加したことから、同2.9%の増加となった。その結果、差引額は6,600億円（同16.8%の減少）となった。

名古屋港における半導体等製造装置の輸出額が過去最高を記録。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降160カ月（13年4カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

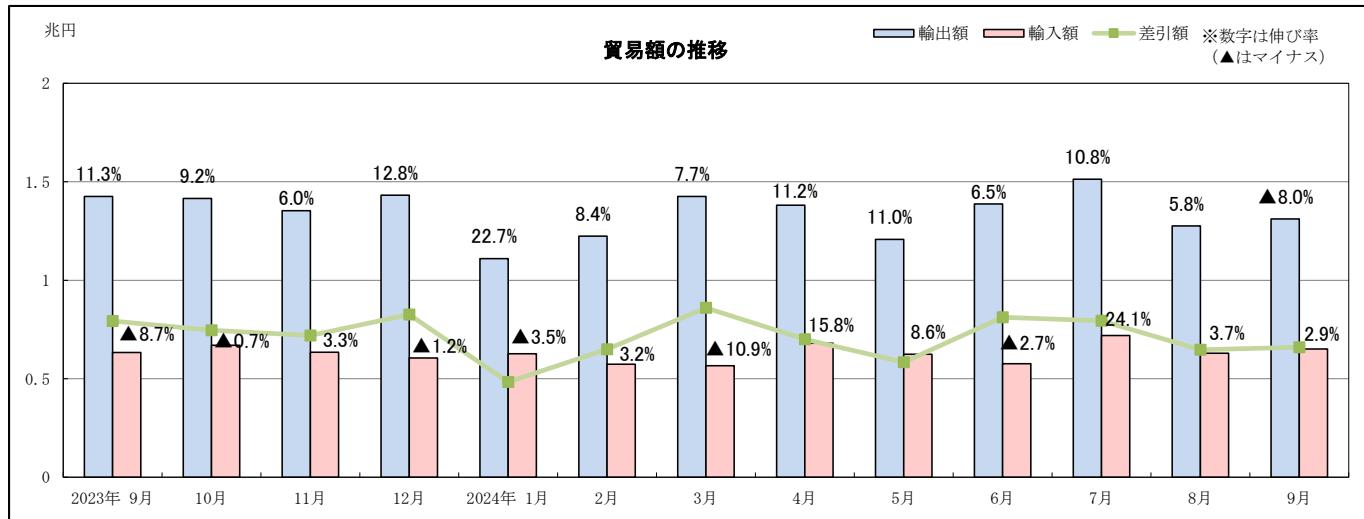
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆3,114億円	▲8.0%	6,514億円	+2.9%	6,600億円	▲16.8%
	35カ月ぶりの減少			3カ月連続の増加		17カ月ぶりの減少
	順位 過去 11位	9月として 2位	順位 過去 8位	9月として 2位	順位 過去 30位	9月として 3位
管内（名港シェア）	2兆0,108億円 (65.2%)		1兆1,896億円 (54.8%)		8,212億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆0,382億円 (14.5%)		9兆3,325億円 (7.0%)		▲2,943億円 (—)	

○主な増減品目

概況品名		金額	伸率	寄与度	増減	
輸出	増加(1)	半導体等製造装置	★ 429億円	+62.9%	+1.2	6カ月連続の増加
	減少(1)	自動車の部分品	1,652億円	▲20.4%	▲3.0	3カ月連続の減少
	(2)	自動車	3,957億円	▲3.6%	▲1.0	2カ月連続の減少
輸入	増加(1)	原粗油	623億円	+16.9%	+1.4	2カ月ぶりの増加
	(2)	自動車	88億円	+227.3%	+1.0	13カ月連続の増加
	減少(1)	がん具及び遊戯用具	15億円	▲86.1%	▲1.5	2カ月連続の減少
	(2)	衣類及び同附属品	404億円	▲16.8%	▲1.3	2カ月連続の減少



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。